



# 平成31年度 土佐厚生会事業計画

土佐厚生会 .....	1
障害者支援施設こくふ .....	9
障害者支援施設あき .....	10
障害者支援施設とさ .....	11
特別養護老人ホーム八流荘 .....	12
デイサービスセンターやながれ .....	14
ホームヘルプステーションやながれ .....	15
小規模多機能型居宅介護事業所南風 .....	16
在宅介護支援センターやながれ .....	17
就労継続支援B型事業所ウィール社 .....	18
就労継続支援B型事業所カトレア .....	20
就労継続支援B型ワークセンターファースト .....	22
障害者福祉ホームコーポラスこくふ .....	24
相談支援センターアルペジオ .....	25
国府寮診療所 .....	26
安芸療護園診療室 .....	26

# 土佐厚生会

理事長 藤田久雄

予てより計画されている、やながれ福祉施設センターの老朽化に伴う移転改築計画については、安芸市所有の原野約 5,000 m<sup>2</sup>安芸市桜ヶ丘西浜の買収が完了したことに伴い、障害者支援施設「あき」に小規模多機能型居宅介護事業所「南風」を併設し、障害者事業と高齢者の地域密着型サービスの複合施設の建設を具体化させる。

遡ること 5 年前、2013 年の 12 月に、やながれ福祉施設センターの施設増改築計画を打ち出し、翌年の 8 月より協議が進められたが、既に地域には少しずつ住宅が立ち並び、穏やかな環境が構築されるなど、現在の敷地内の隣接地を新たに取得することは難しいと判断、2015 年より移転候補地の検討へと舵を切った。「あき」「南風」の建設完了～引越し移転を、おおよそ 2020 年末までに終了させ、引き続き 2021 年春からは、八流荘の建設工事の着工を予定、計画スローガンは「あんな・こんな、が出てくる施設づくり」とする。

国は近年特養に対して個室中心のユニットを推奨しており、入所費用も高額になっている。総人口約 17,000 人、医療と介護の連携を掲げる安芸市において八流荘は低所得者の方々を積極的に受け入れてきた。地域におけるコンパクトシティ化を捉えたとき、八流荘としての今後の在り方や、所在地はどこが相応しいのか、年内に十分な検討が必要である。

また、土佐厚生会は来年の 2020 年 7 月 7 日をもって法人創設 40 周年を迎え、記念誌の発行及び記念式典の開催を要している。移転改築におけるオープンセレモニー等との並行事業も予定されるため、移転完了の進捗を見計らいながら調整のうえ、式典開催を実施する。

さらには重要案件として、新たな人財確保策を構築する必要がある。現在法人が実施している人財確保の現状について、特に安芸地区を中心としたやながれ福祉施設センターにおいては、人財募集をかけても手応えは全くなく、法人内のこくふ、とさ、両ゾーンと比べてもその差は歴然としている。そのため、スタッフ関係者の友人・知人・縁故関係など「つて」によるリファラル（紹介）採用が主となってしまっている。八流荘としても、国によるスタッフの配置基準を満たしているからといって、十分にサービスの提供が果たせるわけではなく、拙速に利用者様を受け入れることで、介護事故等を誘発させることなど絶対に避けなければならない。今回のやながれ福祉施設センターの移転改築事業を人財確保の絶好の機会ととらえ、移転改築情報の発信と並行して土佐厚生会の様々な法人活動をアピールするなど、法人の知名度向上に努める。

まずは、2019 年 4 月 10 日（水）～21 日（日）下北沢駅前劇場にて、「普通って何？」を問いかける優しくて厳しい物語「ヒトハミナ、ヒトナミノ」舞台公演を開催する。本公演の総合プロデューサーで、株式会社アルファエージェンシー（加藤虎ノ介、豊川悦司、萩原聖人、平田満、他多数の著名俳優が所属する大手芸能事務所）マネージャーの小野智敬氏との共同企画による、障害者施設を舞台にした演劇公演の開催である。名探偵コナンの阿笠博士でおなじみの緒方賢一氏が就労継続支援 B 型事業所の田所施設長役で登場し、加藤虎ノ介氏扮する中途採用職員との掛け合いから始まる。4 月 12 日（金）と 16 日（火）のマチネ終了後には、理事長藤田久雄の参加による舞台関係者とのアフタートークを展開、舞台上で現在の福祉情勢と制作裏話をくりひろげる。脚本は演劇ユニット iaku 代表の横山拓也氏（第 15 回劇作家協会新人戯曲賞エダニク）、演出は文学座の松本祐子氏（「ピーターパン」ホリプロで第 47 回毎日芸術賞一千田是也賞を受賞）、出演者は加藤虎ノ介氏（朝の連

続ドラマ「ちりとてちん」他)、緒方賢一氏(名探偵コナン阿笠博士役声優他)、佐藤銀平(佐藤B作氏の息子)、竹内都子(ピンクの電話)、尾身美詞(元キャンディーズ藤村美樹氏の娘)、他とする。本公演は舞台のシリーズ化を目指すとともに、2020年の土佐厚生会設立40周年記念公演と銘打ち「ヒトハミナ、ヒトナミノ」高知公演の開催に向けて準備を進める。

最後に、介護の世界がマスコミに取り上げられるときは、いつもネガティブな話題に終始され、今こそ社会福祉法人としての活動を広く国民に発信していく必要がある。「福祉」とは、人を幸せにする取り組み。人間の尊厳をまもり、基本的人権を保障し、利用者様の自立を支援することが本来的な目標である。「福祉の仕事」とは、支援者に求められる感性と想像力を磨きながら、対人援助職として関係者(各部署)が一心同体となり、それぞれの役割を担うことで、利用者様の自立支援を達成する。支援者として、人として分ちあえる喜びがそこにある。自らの経験を通じて、自らが学び、人として成長するための自己実現に向けた活動そのものに、やりがいを見出すことができる。つまり、支援者も含めて幸せになる取り組みを福祉という。

本年も、時代環境に即した継続の学びを深め、ステークホルダーとの信頼関係の構築・維持に努めるとともに、本事業計画を通して法人の理念、使命を全スタッフが共有し、その実現に向けた活動を展開していくことを旨とする。

## 1 会是

### 愛情

わたくしたちは 常に環境に優しい 人間に優しい心をもって本業につとめます

### 奉仕

わたくしたちは 自由な意思と自発性をもち 福祉の実践に取り組み 福祉社会の実現に努力します

### 連帯

わたくしたちは 高齢者や障がい者などが同じ社会の一員として とともに住める豊かで明るい社会づくりを目指します

## 2 経営理念の役割と管理者の使命

*施設長自らの言葉で伝え、スタッフに寄り添えるリーダーをつくれ*

「会是」とは、施設の存在意義と共通の価値観である。つまり経営理念は、法人を設立した目的や動機を示し、各施設が目指すべき方向、達成にむけた目標やその姿を象徴したものである。当法人の福祉事業の現場において、業務マニュアルは存在するが、多様化されたサービスに対応するための細部にわたるマニュアルの作成などは到底困難であり、業務に携わるスタッフがその時々に応じて自らの決断を迫られる場面に遭遇することが考えられる。利用者様・ご家族に対して正しい対応ができているのか、会是(法人・施設の理念)に沿った支援行為であるのか。など、スタッフ一人ひとりの拠り所となるものが会是である「愛情」「奉仕」「連帯」三つの基準である。

この経営理念に基づき、スタッフの活動方向と判断基準を同じ方向に展開（スタッフの英知を結集）することにより、利用者様や地域社会に対して良質なサービスを効率良く提供することが可能となる。経営理念は、一人ひとりのスタッフがしっかりと認識して初めて意義を持つことから、管理者は俯瞰力（高い視点から広く見渡す力）を持って、スタッフに納得性のある内容や方法で効果的に伝達、明示することが重要となる。各部署リーダーの率先垂範と継続的なスタッフへの浸透活動、一人ひとりの理解が現実に深まる取り組みや、重要な意思決定に迷った場合に、会是三つの基準を思い起こすことができるための取り組みを実施する。

### 介護のおしごと

わたしは 資格もないし 引っ込み思案で 不器用だから  
おとなの人と お話したことも ほとんどないから  
何も わからなくて 質問することさえできない  
このまま ひとりぼっちになりそう  
ここで 何でも話せる友達は・・・  
ちょっと 話しづらい ベテランの先輩・・・  
今日も 利用者さまから しかられた・・・  
先輩から あれほど 注意を受けたのに また 同じ失敗をしてしまった  
あれから 利用者さまは 口を聞いてくれない  
どうしよう  
わたしには やっぱり 無理だった 介護のおしごと

hisafuji

※ 初めて介護の仕事に携わってみると、自分自身が思っていた以上に緊張感と支援の難しさを痛感してしまう。利用者様からのお叱りや苦情に、自らの未熟さを痛感し、誰にも相談できずに自分自身を追い込んでしまうスタッフがそこにいる。ひとりの介護スタッフの退職理由をただ単に本人の力量不足や自己都合によるものとして、安易に片付けてしまうような組織体質に至っては、事業所の存続はあり得ない。職場風土そのものに離職要因があるとしたら、その事業所はやがて淘汰されていくだろう。

### 3 基本方針

#### (1) 経営理念の再認識と浸透活動

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、福祉サービスを必要とする利用者様が、地域社会の一員として、社会・経済・文化活動等に参加をし、有する能力に応じた日常生活を営むための適切な支援を行い、安全で安心できる良質なサービスを継続的かつ安定的に提供できるよう、活気のある経営を進める。

#### (2) 労働環境の適正化と組織の安定化 ～ 効果的な広報戦略

社会福祉法人制度については、税制上の優遇措置にふさわしい地域貢献や運営の透明化等についての具体策が義務付けられていることから、社会福祉法人を巡る昨今の情勢を理解し、公益性に相応しい体制の整備、健全な組織運営を維持するためのガバナンス強化、透明性を高めた積極的な情報公開を進めるなど、効果的かつ公益的な組織運営を展開する。

#### (3) 良好なコミュニケーションづくりとリーダー人材のレベルアップ

社会福祉法人が広く国民からの信頼を得るためには、関係諸機関及び地域住民との更なる連携を図り、施設の専門的知識や機能を可能なかぎり社会に還元する必要がある。制度の谷間で顕在化された地域の課題に挑戦し、サービスと組織全体の改善を行うなど、常に改善に取り組む組織文化の構築を進めながら、地域関係者との信頼の積み上げを図る。

#### (4) 適切な研修体系 ～ スタッフの能力発揮と成長機会の提供

社会福祉施設は、利用者様の立場に立った良質かつ適切な福祉サービスを提供するため、常にサービス内容の見直しを図り、不適切な支援の防止に努めなくてはならない。利用者様の安全と労働災害の防止、労働生産性の向上（※ 提供するサービス内容の簡素化や質の低下を除く）など、役職員の活動方向と判断基準の一体化を進める。キャリアプランの明確化を図り、関係者一人ひとりが共有された組織の中で、発想の転換と創意工夫を重ね、英知を結集できる組織づくりを推進し、働きがいのもてるより良い職場風土の醸成を図る。

#### (5) 学校・養成校への周知と関係づくり ～ 克己復礼

管理者は、絶えず変化していく社会情勢のなかで、必要な知識と技術の習得など、継続的な学びは勿論のこと、常に改善を進めていく土壌を築く実行力が必要となる。有する専門性とリーダーシップを発揮しながら、積極的に福祉人材やボランティアの育成に努めるとともに、関係諸機関との連携を図り、地域を支える主たる役割を担うなど、常に実践を重ねながら自身の人間力向上を図る。

## 4 平成 31 年度 土佐厚生会研修計画

### (1) 平成 31 年度 職場研修の方針

平成 31 年度は、スタッフの確保と定着を推進するために「働きやすさと働きがい両立する職場づくり」に向けて取り組む。スタッフの定着には働きやすさだけでなく、働きがい（仕事の価値や、上司への信頼、周囲との連帯感）が必要で、その取り組みが進み、利用者様の満足度の向上やスタッフのモチベーション向上、そして、土佐厚生会の魅力アップにつなげることを目指す。

### (2) 平成 31 年度 職場研修の重点テーマ・施策

#### ア 専門力と人間力を高めるための「考え方」を学ぶ。

個々のスタッフは専門性を高めると同時に、チームや組織で働くための組織性を高めることも必要となる。階層別研修では、専門力と自ら考えて主体的に行動を起こし、チーム内や部署間の連携、周囲の仲間や利用者様、関係者とより良い関係を構築する力を高めるための「考え方」を学ぶ。

#### イ 新人事考課制度の意味や目的をスタッフに浸透させるための取り組み。

平成 31 年度から新人事考課制度がスタートする。人事考課の目的はスタッフの成長につなげることである。スタッフが成長し、より良い組織をつくるために新制度や法人からの期待事項（考課基準）の意味や目的をスタッフに浸透させるため、役職者を対象とした勉強会を行う。

#### ウ ノーリフト関係の研修を積極的に推進する。

今年度はノーリフトを各ゾーンで積極的に推進する。理学療法士が中核となり各ゾーンで研修やノーリフト推進職員の育成を行う。

#### エ 高知県介護事業所認証評価制度の認証を受けるための体制づくり。

認証評価制度の評価項目・評価基準に沿った取り組みを進めるため、今年度は体制づくりとして、OJT指導者、育成計画、研修計画などの検討を行う。

### (3) 平成 31 年度の具体的研修計画

#### ア 集合研修

研修名	主な対象	時期（予定）
先進企業視察研修	勤続 3 年以上で過去に未参加のスタッフ	4 月に 3 日間

#### イ 新規採用職員研修

研修名	主な対象	時期（予定）
法人基礎研修	新規採用職員 (新卒・中途)	(ア) 法人基礎研修 4 月 (イ) 介護技術研修 4 月 (ウ) 現場研修 4 月

ウ 階層別研修

(7) 階層別研修① [主催：高知県福祉人材センター]

研修名	主な対象	時期（予定）
新任職員研修 ステップ1	福祉職場経験1年未満	1回目：5月20日(月)頃 2回目：6月17日(月)頃
新任職員研修 ステップ2	福祉職場経験1年未満	9月頃
新任職員研修 ステップ3	福祉職場経験1年未満	3月頃

(イ) 階層別研修② [主催：高知県福祉人材センター]

研修名	主な対象	時期（予定）
先輩職員研修	2年以上～3年未満	7月
中堅職員ファーストステップ研修	3年以上で役職にないスタッフ	8月20日(火)
中堅職員ステップアップ研修	5年以上で役職にないスタッフ	9月26日(木)
指導職員研修	主任・係長等	10月頃

(ウ) 階層別研修③ [主催：高知県経営品質協議会]

研修名	対象	時期（予定）
KQN 新規職員人材化セミナー	30歳未満 新卒・中途	6月～1月まで全6回(9:30～12:30) 3月に統括セミナー1回(13:00～17:00)
KQN 現場力強化セミナー	30歳以上 一般職～係長級まで	8月～1月まで全6回(13:00～17:00) 3月に統括セミナー1回(13:00～17:00)

(エ) 階層別研修④

研修名	対象	内容・時期（予定）
人事考課者研修	役職者等	9月又は10月、3月に年2回
新人事考課の勉強会	役職者等	ゾーン毎に少人数で実施する。 新制度や法人からの期待事項(考課基準)の意味や目的をスタッフに浸透させることを目的とする。

エ 職場内研修

研修名	内容
介護技術研修	感染症、リスクマネジメント、事故対応等
ノーリフト研修	スタッフの腰痛予防やケアの質向上を目的にノーリフトを各ゾーンで積極的に推進する。理学療法士が中核となり各ゾーンで研修、ノーリフト推進職員の育成を行う。
虐待防止研修	各ゾーンの虐待防止委員会が、虐待防止テーマに沿って研修を企画。虐待防止委員会メンバーを中心に所属ゾーンで実施する。

オ 専門職会

名称	対象・趣旨・時期等
就労支援事業部会	(ア) 趣旨：事業所及びスタッフ間の情報共有と専門性の向上、各種研修企画など (イ) 対象：対象事業所及び対象業務に従事するスタッフ (ウ) 時期：各会約3か月に1回程度
栄養士会	
P T 会	
入所相談員会	
入所サビ管会	
介護職員会	

カ SDS支援（自己啓発援助制度）

名称	内容・時期等
介護職員初任者研修	平成31年8月～平成32年1月予定
資格取得の奨励	(ア) 介護福祉士等の資格試験日を職務免除とする。 (イ) 資格手当の増額 (ウ) 資格取得や通信教育等に関する情報提供

5 経営する社会福祉施設のプロジェクト関係

やながれ福祉施設センター

各事業所の大規模改修等に係る調査研究及びプロジェクトマネジメントの継続

社会福祉事業	介護老人福祉施設	八流荘
	デイサービスセンター	やながれ
	在宅介護支援センター	やながれ
	短期入所生活介護事業所	八流荘
	ホームヘルプステーション	やながれ
	障害者支援施設	あき
公益事業	安芸療護園 診療室	

2014年8月16日 [プロジェクトチーム発足]

2019年4月1日 [プロジェクトチーム改選]

2019年度

施行業者選定・造成工事・高知県補助金申請・借入申込建築確認申請・建築工事 他  
 予算管理・ファンドレイジング・契約管理・広報・機材備品・採用（人財募集）

小規模作業所ファーモニーの経営

平成22年9月1日、財団法人JKA（オートレース公益資金）による補助金を受け、高知市新本町2丁目（高知駅より徒歩3分、高知赤十字病院前）に於いて、小規模作業所ファーモニーが開設され、5名の障がい者の方々の就労訓練が開始された。以後、知的障がい者1名、精神障がい者2名の方々を一般就労（当法人内施設の生活支援員として雇用）へと導いた。しかしながら、店舗事業は想定外の人件費の圧迫により、平成26年度より休止を余儀なくされた。その後地域住民の方々



より、憩いの場としての店舗再開の要望が法人本部に多数寄せられ、平成 27 年度より事業再開に伴う準備を進め、職業指導員の確保と店舗改装が完了、開設当初より人員を削減し、平成 28 年 4 月に正式にリニューアルオープンを果たした。

事業内容としては、店舗運営のみならず、やながれ福祉施設センターの各事業所から、昼食弁当を受注するなど、職業指導員 1 名と店舗スタッフ 1 名の計 2 名の少数精鋭で経営している。高知駅周辺にお住まいの方々や勤務をされているの方々、遠路大豊町から日赤病院に通院をされている方々などのやすらぎの場として、地域貢献を果たすとともに、やながれ福祉施設センターに勤務するスタッフの福利厚生にも一役買っている。しかしながら、2019 年 5 月 6 日にはシキボウ高知工場跡地に高知赤十字病院が移転、新病院として開院する。これに伴い店舗周辺の薬局も同地へ移転するなど、固定客の減少が予想される。また当法人のやながれ福祉施設センターの移転改築事業に伴う資金確保及びやながれゾーン昼食弁当の提供事業終了による収益減少を考慮すると、八流荘の改築事業完了を目途に小規模作業所ファーモニーとしての事業形態の修正を図る必要がある。

## 1 運営基本方針

法人の基本理念である「愛情・奉仕・連帯」に基づき、地域住民の憩いの場として愛される小規模作業所を展開し、地域貢献に努める。

## 2 目標

「やすらぎの場の提供」をスローガンとして、ファーモニーを利用されるお客様に心からリラックスしていただける「やすらぎ空間」づくりに努める。

## 3 具体的な取組み

### (1) 事業活動収支差額の黒字化に努める

ア 達成水準：事業活動収支差額の赤字解消

- イ 達成手段：(ア) 高知赤十字病院の移転完了後は新たな事業関係者に早期営業を実施する。
- (イ) 事務費、高熱水費等の節減に努める。
  - (ウ) 廃棄食材、備品破損の減少に努める。

### (2) スタッフの障害特性に配慮した支援に努める

ア 達成水準：本人の状態を見極めながら可能な業務を一つずつ増やしていく。

- イ 達成手段：(ア) 業務における責任の所在は、本人にないことをその都度説明し、失敗に対する不安を軽減するなど、チャレンジ精神を養う。
- (イ) 達成したら褒め、自信を持たせることでやりがいの向上を図る。
  - (ウ) 職業指導員としてのスキルを高めるべく「精神保健福祉士資格」の取得を目指す。

### (3) 地域に根ざした事業展開に努める

ア 達成水準：ファーモニーの 1 日平均来店客数を 1 名増やし、売上向上を図る。

- イ 達成手段：(ア) 日替わり定食に変化をつけ、リピート率を高める。
- (イ) 店内オペレーションの見直しを行い、提供時間の短縮を図る。
  - (ウ) 高品質の音響設備を地域にアピールし、会議室としての利用率を高める。

# 障害者支援施設こくふ

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」・「奉仕」・「連帯」の精神を遵守し、利用者様の立場に立った支援を行います。全スタッフがベクトルを合わせ、地域社会の一員として安全で安心して暮らせる施設づくりを行います。

## 2 目標

「思いやる気持ちでつなぐこころの和」をスローガンとして、利用者様とスタッフ、利用者様同士、スタッフ同士が助け合い、理解し合える環境の整備に努めると共に、施設に携わる皆がここに居たいと思える施設を目指します。

## 3 事業計画

- (1) 利用者様の確保に努めます。
- (2) スタッフの確保に努めます。
- (3) 業務改革の推進に努めます。

## 4 具体的な取組み

- (1) 利用者様の確保に努め、施設経営の安定を図ります。【数値目標：稼働率 95%、76 名以上】
  - ア 相談支援センターアルペジオや各関係機関と密な連携を図り、積極的な営業活動等を行い、新規利用者の確保に努めます。
  - イ 短期入所の稼働率を向上させるため、3 障害の受け入れ態勢を整備し、緊急ショートや体験ショートの受け入れも積極的に行います。
  - ウ 新たに広報ツール(パンフレットやチラシ等)を作成し、関係機関に配布し、新規利用者の獲得を目指します。
- (2) スタッフの確保に努め、働きやすい職場環境づくりを行います。
  - ア 就職フェアや転職イベント等に積極的に参加し、介護、看護スタッフの確保に努めます。
  - イ 施設近隣地域に求人募集のダイレクトメールを発送し、パート、時短スタッフの確保を図ります。
  - ウ 日頃よりコミュニケーションを密に取り、風通しの良い職場環境を作ります。
  - エ 施設内外の研修を通してスタッフのスキルアップを図り、サービスの向上に努めます。
- (3) 業務改革を推進し、利用者満足、職員満足の向上に努めます。
  - ア ノーリフティングケアを活用し、利用者様、職員双方に負担の掛からない適切な支援を行い、働きやすくやりがいのある職場環境の構築、改善を行います。
  - イ 利用者様の特性やニーズを把握し、特色のある日中活動の提供を行います。
  - ウ 現状に満足することなく、積極的に業務の改善を図り、良質なサービスの提供を目指します。
  - エ 地域の方々と合同防災訓練を開催するなどし、地域との連携の強化を図ります。

# 障害者支援施設あき

## 1 基本方針

法人の会である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、利用者様の人権を尊重したサービスの質の向上を図りながら、施設に関わる方、地域の方々との信頼関係の構築に努め、安定した施設運営を目指します。

## 2 目標

「みんなでつなごう、次のステージへ」をスローガンとして、経営の安定とサービスの質の向上に努め、移転に向けての準備を進めて参ります。

## 3 事業計画

- (1) 稼働率 90%以上を目指します。
- (2) 施設体制の整備を行い、サービスの質の向上を目指します。
- (3) 人財育成を組織的・継続的に行い、労働環境を改善してスタッフの定着に努めます。
- (4) リスク管理・防災対策を強化します。
- (5) 移転先にて、50名満床状態でのスムーズな事業開始に向け、準備を進めます。

## 4 具体的な取組み

- (1) 稼働率 90%以上を目指します。
  - ア 養護学校、地域の就労支援事業所との関係作りを行い、施設見学につなげる。
  - イ 知的・精神障害に関する研修会等で支援方法を学び、幅広い受入れができるようにする。
  - ウ 生活介護、ショートステイの希望者を受入れ、地域の在宅者のニーズに応じていく。
- (2) 施設体制の整備を行い、サービスの質の向上を目指します。
  - ア 緊急通院時の施設対応は全スタッフが統一した認識で行い、利用者様、ご家族、関係機関にとって安心感の持てる協力体制を取っていく。
  - イ 労務管理により提供サービスの見直しを行い、内部活動の充実を図る。
- (3) 人財育成を組織的・継続的に行い、労働環境を改善してスタッフの定着に努めます。
  - ア ステップアップシートにて個々の課題を明らかにし、課題解決に向けて育成する。
  - イ キャリアパスを意識できる育成に努め、スタッフのモチベーションアップ、資質向上を目指す。
  - ウ ノーフットケアを推進し、利用者様、スタッフへの身体的負担を予防する。
- (4) リスク管理・防災対策を強化します。
  - ア ヒヤリハット、インシデント、事故、苦情への歯止め・実施継続のため、PDCAサイクルを機能させ、リスク管理に努める。
  - イ 防災マニュアル、訓練方法の見直し・変更を行い、有事の際に備える。
- (5) 移転先にて、50名満床状態でのスムーズな事業開始に向け、準備を進めます。
  - ア 利用者様、地域のニーズや希望から新しい事業内容を検討、決定し、実施に向けての準備を行う。
  - イ 行政、地域との関わりを密に取り、開始に向けて協力体制を整える。
  - ウ 必要物品、設備について仕分け・購入の検討、書類等の整理・廃棄を計画的に実施する。

# 障害者支援施設とさ

## 1 基本方針

関係法令を遵守し、法人の基本理念たる愛情・奉仕・連帯に基づき、地域への貢献を念頭において事業計画の達成を目指します。また、利用者様の人権の尊重、自己決定、自己選択の保障及び自立に向けた支援に努め、利用者様が安心安全な生活と社会参加ができる支援を目指します。

## 2 目標

「地域の福祉拠点」を施設のスローガンとして、社会福祉法人の原点である地域への奉仕、地域特有の福祉ニーズに対応できる施設作りを目指します。そのために充実したサービスの安定提供に努めます。また、地域の福祉ニーズである大規模災害に備えると共に各関係機関と連携して地域貢献に努めます。

## 3 事業計画

- (1) 職員満足向上のため、定年まで働きたい職場にします。
- (2) 利用者満足向上のため、充実したサービス提供を行います。
- (3) 経営満足向上のため、利用単価と稼働率の向上による増収を図ります。
- (4) 地域貢献のため、福祉避難所整備と各関係機関との連携を深めます。

## 4 具体的な取組み

- (1) 職員満足向上の取組み
  - ア 達成水準：職員定着率 95%以上
  - イ 達成手段：(ア) 人事考課面接と身上調書面接により、帰属意識向上を図ります。
    - (イ) 職場内研修と OJT により、スキル向上と部署間連携向上を図ります。
    - (ウ) 気軽に相談できる体制を整え、スタッフのストレス軽減を図ります。
- (2) 利用者満足向上の取組み
  - ア 達成水準：稼働率目標 98%以上
  - イ 達成手段：(ア) 個別支援計画により、個別ニーズの支援を充実します。
    - (イ) 充実した給食環境を整えます。
    - (ウ) 全スタッフ月 1 件以上の改善提案を目指します。
- (3) 経営満足向上の取組み
  - ア 達成水準：事業活動収支差額の収入比率 10%以上
  - イ 達成手段：(ア) 生活介護サービスの通所者の利用回数を増やします。
    - (イ) 入所定員 5%枠を活用して入所在籍者 51 名を目指します。
    - (ウ) 光熱水費、事務費の節約を行い冗長な支出をなくします。
- (4) 地域への取組み
  - ア 達成水準：平成 30 年度より地域との関わりを増進する
  - イ 達成手段：(ア) マニュアル作成と訓練にて、福祉避難所の円滑な運営を検討します。
    - (イ) 高岡高等学校との交流を深め、地域交流の増進を図ります。
    - (ウ) 近隣社会福祉法人と連携して、公益的な取組みの実施を目指します。

# 特別養護老人ホーム八流荘

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」・「奉仕」・「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者に対して、個人の尊厳や希望、置かれている環境、年齢および心身の状況等に応じた多様な福祉サービスを提供することにより、高齢者が住みなれた地域で社会の一員として自立した日常生活をすると共に、社会参加の実現を図るために適切な支援にあたることを基本方針とします。

## 2 目標

「自分自身が入所したい」「自分の家族を入所させたい」と思えるような施設づくりを目指します。

## 3 事業計画

- (1) ベッドコントロールにより、施設経営の安定化を図ります。
- (2) スタッフ間のコミュニケーションの円滑化により、チームケアの強化に努めます。
- (3) 法令遵守の徹底により、透明性・公平性の高い施設運営を行います。
- (4) ノーリフティングケアの促進により、腰痛予防や人財確保・定着に努めます。
- (5) ICTの活用を推進し、業務の効率化と事務量の軽減を図ります。
- (6) 福祉活動を通じて、地域社会に貢献します。

## 4 具体的な取組み

- (1) ベッドコントロールにより、施設経営の安定化を図ります。
  - ア 利用者様の身体状況の変化には迅速に対応し、可能な範囲で入院回避や入院期間の短縮により、年間稼働率 90%（短期入所を含む）を目指します。
- (2) スタッフ間のコミュニケーションの円滑化により、チームケアの強化に努めます。
  - ア スタッフ間の情報共有を密にすることで早期発見・早期対応に努め、利用者様が安心して生活が送れるよう支援していきます。
  - イ 重度化する利用者様の急増を見据え、多職種連携による医療的ケアや看取りケアの充実に取り組みます。
- (3) 法令遵守の徹底により、透明性・公平性の高い施設運営を行います。
  - ア 介護保険法令及びその他関係法令に対し、法令遵守が確実に行われている事を各種委員会で確認するとともに周知徹底を図ります。
- (4) ノーリフティングケアの促進により、腰痛予防や人財確保・定着に努めます。
  - ア 福祉機器の導入や福祉用具の活用をすすめ、利用者様にもスタッフにも負担の少ない介護を目指します。

- (5) ICT の活用を推進し、業務の効率化と事務量の軽減を図ります。
- ア 文書量の減少、帳票類の簡素化、時間外労働の改善等を目的に、ICT の実用化を図ります。
  - イ 医療・介護連携の充実に向けたサービス事業者のネットワーク構築に向け、ICT による医療介護情報共有の動きにも対応していきます。
- (6) 福祉活動を通じて、地域社会に貢献します。
- ア 地域の福祉課題に積極的に向き合い、施設の機能や専門性、ノウハウを活かした公益活動に取り組んでいきます。
  - イ 継続的にボランティアや職場体験学生を受け入れ、地域の方々との交流を図り、施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指します。

# デイサービスセンターやながれ

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に  
応じたサービスを提供することにより、住み慣れた地域で自立した生活ができ、社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等にも参加できるよう支援を行います。

## 2 目標

「小さな気遣い 大きな信頼」を年間スローガンとして、利用者様やご家族、関係機関、スタッフ同士の信頼関係の構築に努めます。

## 3 事業計画

- (1) 法人の理念と経営方針をふまえ、責任と使命を果たす組織づくりを継続し、スタッフ一人ひとりに高い倫理観と規範意識を促してコンプライアンスの推進に努めます。
- (2) 利用者様に対する人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、各種研修等により業務スキルを向上させ、安心感のあるサービス提供に努めます。
- (3) 自己決定、自己選択ができる環境で、その人らしく、安全で安心して楽しく生き生きと自立生活ができるよう支援に努めます。
- (4) 加齢に伴う心身の機能低下を防止するように努めるとともに、健康で心豊かな日常生活を送ることができるように支援します。
- (5) 高齢者の方々の社会的役割を促すとともに、社会的、文化的活動に参加できるサービスの提供に努めます。
- (6) 地域との連携を深め、地域密着型事業所としての役割を果たすように努めます。

## 4 具体的な取組み

- (1) 職員満足向上の目標：達成感と成長が実感できる職場づくり  
ア 達成水準：(ア) 業務（マニュアル）の見直しを行い、業務の標準化の実施。  
(イ) 業務スキル向上を目的とした事業所内研修の実施。
- (2) 利用者満足向上の目標：安全で楽しく日常生活を送ることができる生活環境の提供  
ア 達成水準：(ア) 自己選択、自己決定型活動プログラム導入の検討。  
(イ) スタンプラリー導入の検討。  
(ウ) 利用者満足度調査(2回/年)を行い、問題・課題に対する取り組みを実施。
- (3) 経営満足向上の目標：経営基盤の安定  
ア 達成水準：(ア) 平均利用延人数 380名/月  
(イ) 平均稼働率 70%/月。  
(ウ) 中重度者ケア体制加算の再取得検討。

# ホームヘルプステーションやながれ

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に  
応じたサービスを提供することにより、住み慣れた地域で自立した生活ができ、社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等にも参加できるよう支援を行います。

## 2 目標

「小さな気遣い 大きな信頼」を年間スローガンとして、利用者様やご家族、スタッフ同士の信頼関係の構築に努めます。

## 3 事業計画

- (1) 法人の理念と経営方針をふまえ、責任と使命を果たす組織づくりを継続し、スタッフ一人ひとりに高い倫理観と規範意識を促してコンプライアンスの推進に努めます。
- (2) 利用者様に対する人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、各種研修等により業務スキルを向上させ、安心感のあるサービス提供に努めます。
- (3) 利用者様の意向を尊重し、その人らしく、安全で安心して生き生きと自立生活ができるよう支援に努めます。
- (4) 高齢者の方々の社会的役割を促すとともに、社会的、文化的活動に参加できるサービスの提供に努めます。

## 4 具体的な取組み

- (1) 職員満足向上の目標：達成感と成長が実感できる職場づくり  
ア 達成水準：(ア) サービス提供責任者を中心に業務マニュアルの見直しを行い、業務の標準化を実施。  
(イ) 業務スキルの向上のため事業所内研修を実施。
- (2) 利用者満足向上の目標：安全で安心して日常生活を送ることができるサービスの提供  
ア 達成水準：(ア) 利用者満足度調査(2回/年)を行い、問題・課題に対する取り組みを実施。
- (3) 経営満足向上の目標：経営基盤の安定  
ア 達成水準：(ア) 平均訪問回数 380回/月  
(イ) 平均稼働率 95%/月。



# 小規模多機能型居宅介護事業所 南風

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者に対して、個人の尊厳や希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じた多様な福祉サービスを提供することにより、住み慣れた地域で、自立した日常生活をすると共に、社会、経済、文化、その他のあらゆる分野での活動等に参加できるよう支援を行います。

## 2 目標

「その人がその人らしく笑顔で過ごせる安心した居場所作り」を目標に、ご家族や地域との繋がりを大切にしながら、住み慣れた土地で安心して暮らしていけるように努めます。

## 3 事業計画

- (1) 地域連携と地域の資源を活用し、利用者様のこれまでの生活スタイルを維持できるように努めます。(介護)
- (2) 日々の健康管理と異常の早期発見に努め、受診に繋がります。脱水や感染症等について、利用者様、ご家族にその時々に応じたアドバイスをいたします。(看護)
- (3) 利用者様の目標を明確にしたケアプラン作成に努めます。公的な研修に積極的に参加し、最新の情報の収集と研修内容について事業所内で情報の共有を行い、スキルアップを図ります。(介護支援専門員)
- (4) 稼働率アップと加算取得により、経営基盤の安定を図ります。(管理)

## 4 具体的な取組み

- (1) 職員満足向上の目標：研修を通し、専門知識、技術の習得を図る。  
ア 達成水準：(ア) スタッフの希望を取り入れた個人別年間研修計画の作成
- (2) 利用者満足向上の目標：季節の行事、外出、旬の食材を使った家庭料理の提供等、利用者様が楽しめる事の企画をする。  
ア 達成水準：(ア) しゃべろう会 1回/月実施  
(イ) 家族会 2回/年実施
- (3) 経営満足向上の目標：経営基盤の安定  
ア 達成水準：(ア) 登録定員 23 人を目標 (稼働率 92%)  
(イ) 病院、包括、居宅介護支援事業所等への広報活動を積極的に行う。  
(ウ) 取得可能な加算報酬の算定ができるように職員体制を整える。

## 5 事業所移転について

スタッフの希望や専門機関のアドバイスを取り入れ、働きやすい職場環境を目指します。関係機関と連携し、移転に向けての準備を行います。

# 在宅介護支援センターやながれ

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じたサービスを提供することにより、これらの人々が住み慣れた地域で社会の一員として自立した日常生活をするとともに社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等に参加できるよう支援を行うものとします。

## 2 事業目標

マネジメント技術の向上を図り、法人内事業所との協働により利用者様やご家族、地域から信頼される事業所運営を目指します。また、医療介護の連携により高齢者が地域で暮らすことができるよう医療機関、行政機関等との情報を密にして地域福祉に努めます。

## 3 事業計画

- (1) 東部地域の介護保険情勢を把握し、法人内事業所との協働による事業所経営の安定を図ります。
- (2) 地域の行事への参加、地域住民や民生委員との交流を通じ、地域高齢者のニーズを把握し、介護保険制度や社会資源を活用して、可能な限り住み慣れた地域で生活できるように努めます。
- (3) 独居又は高齢夫婦世帯や低所得高齢者、医療的ケアの大きい高齢者など様々な困難ケースの増加に対し、地域住民や医療、行政機関との情報交換を密にして地域福祉に貢献します。
- (4) 医療介護連携のネットワーク構築のシステムについて情報収集を行い、ネットワークへの参加の検討や情報共有のシステム作りを進めていきます。

# 就労継続支援 B 型事業所 ウィール社

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、個人の尊厳を重んじ人権の尊重に努め、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添っていく支援を行っていきます。

## 2 目標

「思いやる気持ちでつなぐこころの和」をスローガンとし、利用者様・ご家族・スタッフ間の信頼関係が築けるように努めます。また、障がいのある方が地域で自立した生活を可能にするための生活支援を行い、利用者様にとって一番いい「働き方」ができるように支援します。

## 3 定員、作業時間、職員配置状況

- (1) 利用定員 20名
- (2) 作業時間 8:30 ~ 16:00
- (3) 職員配置状況 職員常勤 5名 職員非常勤 4名

## 4 事業計画

- (1) 利用者様のニーズと課題、目標や支援方法、手段等を明確にして、個別支援計画に基づき、自立生活への支援を行います。
- (2) 利用者様の自治会や家庭生活での役割を把握し、その役割が遂行できるように、また社会人としての社会生活力を高めるよう支援します。
- (3) こくふ福祉の村まつりへの参加、クリスマス忘年会・花見・グループ分けでの外出等の行事を行います。また、余暇を利用した自治会のクラブ活動（スポーツクラブ・釣りクラブ）を支援し、利用者様により一層満足してもらえるように努めます。
- (4) 利用契約 26 名、1 日平均 22 名以上の通所を確保し、目標稼働率は 110%以上とします。
- (5) スタッフ一人当たり年間 10 件以上の業務改善提案を推奨し、業務手順に関するマニュアル化の整備を行います。
- (6) 授産活動での収益と顧客の増加に努め、売上目標は 23,320,000 円とします。利用者様の平均工賃は前年度を上回ることを目標とし、月 23,000 円以上を目指します。

- ア 編集・印刷：
  - (ア) 利用者様の作業能力に応じて作業範囲の幅を広げます。
  - (イ) 新たな商品の提案に結びつくように営業と連携していきます。
  - (ウ) 年間売上目標額は 15,000,000 円とします。

- イ 受託作業：(ア) 年間を通じた安定した作業の確保と、一人ひとりの利用者様の作業におけるスキルアップを図ります。  
(イ) 年間売上目標額は 2,280,000 円とします。
- ウ 精米作業：(ア) 生産者から直接仕入れを行いコスト削減による収支改善を行います。  
(イ) 年間売上目標額は 6,000,000 円とします。
- エ 営業活動：(ア) 原材料費の高騰に伴う価格の見直しに取り組むとともに、経費案分の見直しをすることで、収益の確保を図ります。  
(イ) 障害者優先調達法の周知活動を継続し、受注増を目指します。

# 就労継続支援B型事業所 カトレア

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を誠実に実践すると共に、ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様の置かれている心身の状況や生活環境など、その実情を深く理解し、社会適応訓練や就労継続支援の充実に努めます。

## 2 目標

事業計画を具体的に実施できるようスタッフ間で共有を図り、利用者様や地域、取引先、行政機関等と構築してきた信頼関係を永く継続していきます。「組織と職員の成長」をスローガンとして、土佐厚生会の経営理念を念頭に置き、スタッフ全員で成長できるように努めます。また、利用者様やご家族、スタッフ、皆が幸せな生活を送れる様に毎日の活動を行います。

## 3 定員、作業時間、職員配置状況

- (1) 利用定員 20名
- (2) 作業時間 9:00 ~ 16:00
- (3) 職員配置状況 職員常勤 7名 職員非常勤 3名

## 4 事業計画

- (1) 利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るために、生活面の支援と就労に必要な知識及び技能を高めると共に、施設の環境整備を整え利用者満足度を高める支援を行います。
- (2) 利用者様一人ひとりの人格を尊重して、自己決定、自己判断、自己選択を保障し、就労継続支援と社会生活支援を個別支援計画に基づき行います。
- (3) 授産活動では、新規顧客の増加と収益率増に努めます。売上目標は20,000,000円とし、利用者様の平均工賃は前年度を上回る事を目標とし、月19,000円を目指します。

### ア 食品加工

利用者様それぞれの能力、特性に合った作業や環境を提供し、やりがいを引き出す支援を行います。オリジナル新商品の開発や、新規販売先の開拓に努め、年間売上額3,000,000円を目標とします。

### イ 乾燥工場

地元生姜仲卸業者からの洗浄作業を毎日行い、安定した売上額を確保します。サニーフーズとの安定した取引を行い、原料の安定供給や経費の削減を行い、年間売上額14,200,000円を目標とします。

### ウ 喫茶

一日平均売上定食数20食を目指し、年間売上2,800,000円を目標とします。

- (4) 利用契約者を 28 名（定員 20 名）確保し、稼働率 120%を継続します。
- (5) 日帰り旅行や涼風祭への参加、花見・成人の祝い・新年会等の行事を行います。また、第 3 土曜日を通所日とし、午後から余暇活動を行います。利用者様・ご家族の交流や利用者様の社会参加に努めます。
- (6) 職員研修を実施し、土佐厚生会のスタッフとしての資質の向上と育成に努めると共に、レベルの高い専門性・組織性・常識性のバランスのとれたスタッフの育成に努めます。
- (7) 養護学校高等部の現場実習を積極的に受け入れ、学校との連携を深めていきます。

# 就労継続支援B型ワークセンター ファースト

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、個人の尊厳を重んじ人権の尊重に努め、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添っていく支援を行っていきます。

## 2 目標

「思いやる気持ちでつなぐこころの和」をスローガンとし、利用者様・ご家族・スタッフ間の信頼関係が築けるように努めます。また、障がいのある方が地域で自立した生活を可能にするための生活支援を行い、地域での社会生活や社会参加への推進のための支援をします。

## 3 定員、作業時間、職員配置状況

- (1) 利用定員 10名
- (2) 作業時間 9:30 ~ 16:00
- (3) 職員配置状況 職員常勤 4名 職員非常勤 1名

## 4 事業計画

- (1) 利用者様一人ひとりの人格を尊重して、自己選択、自己判断、自己決定の保障をし、就労継続支援と社会生活支援を個別支援計画に基づき行います。
- (2) 利用者様の稼働率アップに取り組みます。  
契約利用者が12名になるように努め、1日平均9名以上の通所を目標とします。
- (3) 社会参加や地域との交流機会を増やします。  
あったかハートふれあい大会、大豊町文化祭などの地域イベントに参加して、販売活動に努めます。
- (4) ファーストの仲間づくりと社会生活力増進に努めます。  
花見や社会見学、外出時の買い物等の機会を増やして生活者としての経験を積み、個人でも活動が出来るように支援します。
- (5) 町村が受給者証を発行する65歳以上で、手帳の保持なく介護保険の適用とならない、作業が可能な方の受け入れをしていきます。
- (6) 嶺北地域の事業所と連携して作業等を行い交流していきます。
- (7) 就労活動での収益と顧客の増加に努め、就労収益の黒字と工賃アップを目指します。
  - ア ミニパック株式会社：衛生用品の不純物の取り除き、袋詰め
  - イ 菊水酒造株式会社：お酒の化粧箱へのシール張り、掛け紙折り等

- ウ 大豊町碁石茶協同組合：碁石茶の選別・袋詰め等
- エ 松田医薬品株式会社：入浴剤封入、のり貼り
- オ 株式会社末広：贈答用箱折り、包装資材カット等
- カ 印刷：嶺北地域からの印刷受注窓口、配達
- キ 地域イベント：碁石茶製品、果物（新高梨）の販売
- ク 嶺北3事業所（どんぐり、りんどう、ファースト）で合同作業：芋ほり、プール清掃等
- ケ 農工センター清掃：2階、3階会議室、ホール、トイレの清掃





# 相談支援センター アルペジオ

## 1 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立った適切な計画相談支援の提供を行います。計画は利用者様のニーズに基づき、中立性・公平性を担保し、利用者様の権利擁護、生活の質が向上する計画を実践し、ライフステージを通した一貫した計画を作成します。

## 2 目標

「思いやる気持ちでつなぐこころの和」をスローガンに、特定相談支援事業の円滑な運営管理を行い、常に利用者様やご家族の立場に立ち、適切な計画相談支援の提供を行います。また、利用者様の生活を支えるために、障害者総合支援法以外のサービスやインフォーマルな支援も計画に反映し、利用者様の思いに寄り添った支援を行います。

## 3 事業計画

- (1) 法人内施設を利用されている利用者様を中心に、サービス等利用計画の作成やモニタリングの実施に努めます。また、必要に応じて適宜改善を行います。
- (2) 他法人の相談支援事業所とのつながりを大切にし、研修や事例検討会に積極的に参加し、相談支援専門員としての専門性や知識の向上に努めます。
- (3) 支援機関や各事業所とのスムーズな連携を図り、関係機関に支持される事業所を目指します。
- (4) 計画相談は地域全体のサービスを充実させる契機となり、不足するサービス、資源を支援機関とともに検討、提案します。
- (5) 利用者様の意思決定を尊重し、権利擁護を常に考え、相談支援専門員としての役割を果たします。

# 国府寮診療所

## 1 基本方針と目標

この診療所は、指定医療機関としてこくふゾーンの利用者様及び地域住民にも開かれた診療所として開設されている。その機能を最大限に発揮して利用者様や地域住民の医療的支援をはかる。

## 2 事業計画

- (1) 安全で安心して快適な生活ができるよう、従事者の勤務体制を整え、従事者相互が報告、連絡、調整をはかりながら、利用者等に対する医療的ケアをはかる。
- (2) 内部疾患の増加、加齢に伴う高血圧、糖尿病など生活習慣病などの予防指導および治療に努める。
- (3) 罹患者の早期発見と早期治療に努めるとともに、利用者様および扶養義務者等への協力、支援を求めるよう努力する。

# 安芸療護園診療室

## 1 基本方針と目標

この診療所は、指定医療機関としてやながれゾーンの利用者様及び地域住民にも開かれた診療室として開設されている。その機能を最大限に発揮して利用者様や地域住民の医療的支援をはかる。

## 2 事業計画

- (1) 安全で安心して快適な生活ができるよう、従事者の勤務体制を整え、従事者相互が報告、連絡、調整をはかりながら、利用者等に対する医療的ケアをはかる。
- (2) 内部疾患の増加、加齢に伴う高血圧、糖尿病など生活習慣病などの予防指導および治療に努める。
- (3) 罹患者の早期発見と早期治療に努めるとともに、利用者様および扶養義務者等への協力、支援を求めるよう努力する。

